

「第19回 連携室の連携」を12月11日の土曜日の午後にANAクラウンプラザホテル福岡にて開催いたしました。

施設活動報告は戸畑共立病院と吉塚林病院の2施設であった。

病院の沿革、概要、地域連携室の構成や業務内容、今後の課題など報告があった。続くシンポジウムでは「在宅への連携 ～在宅医療をわかり合う～」というテーマで行った。演者は京極新治先生(小さな診療所・院長)と原速先生(原外科医院・院長)の2名である。京極先生は、在宅療養支援診療所の制度についてなど、在宅医療の基本知識等の発表で、原先生は粕屋北部在宅医療ネットワークの取組みについての発表があった。その後の意見交換では、病院側の在宅医療への「認知度」が低い。在宅医療に対して過度な期待をいただいたり、連携室は院内との連携で問題を抱えていないか、職種間の連携に問題はないかといった問題が提起された。

第2部の「懇親会」でも活発な意見交換が行われた。

CONTENTS

1 会長挨拶 2 施設活動報告 3 シンポジウム 4 新規参加施設紹介 5 その他



【シンポジウム】
特別講演
I テーマ
在宅への連携～在宅医療をわかり合う～



【施設活動報告】
① 戸畑共立病院
榎井 淑子氏
② 吉塚林病院
藤島 伸也氏



II 座長
淵野 泰秀会長
III 演者
・「在宅医療は緩和ケア」
京極 新治院長
・「粕屋北部在宅医療ネットワーク」
原外科医院
原 速院長



【新規参加施設紹介】
宮崎 亮副会長
・誠愛リハビリテーション病院
・小西第一病院

